2026年3月7日（土）
13:00-16:00

動く
動かす

知的障害のある人の自立生活と支援について
2025年度オンラインシンポジウム

知的障害のある人の自立生活について考える会
2025年度オンラインシンポジウム

動く・動かす

― 知的障害のある人の自立生活と支援について ―

日程：2026年3月7日（土）13:00–16:00（予定）
形式：ウェビナー（オンラインでの動画配信）
情報保障：パソコン文字通訳・手話通訳
参加費：カンパ制
問い合わせ：csjsproject@gmail.com

参加申し込みはQRコードから

知的障害のある人が、地域で「自分の暮らし」を営むために必要なことは、
その人の暮らしを制度や支援に当てはめることではなく、
暮らしの側から制度や支援を編み直すことだと私たちは考えています。

今年度のオンラインサロンでは、当事者・家族・支援者の報告と対話を重ね、
各地の実践のなかで見えてきた課題や工夫を整理してきました。

本シンポジウムは、その蓄積を踏まえ、
「動く」＝制度で支える実践と、
「動かす」＝制度にとらわれない豊かな暮らしを広げる試みを往復しながら、
次のアクションにつながる議論の場をつくります。

主催　知的障害のある人の自立生活について考える会
後援
- DPI日本会議　全国自立生活センター協議会
- 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
- 東京都自閉症協会
- 昭和音楽大学

プログラム

第1部　動く　知的障害のある人の自立生活を制度で支える
　現行制度を活用しながら、どのように地域での一人暮らし／自立生活を支えているのか。現場の実践から共有します。

- **自立生活準備中の課題**
  - NPO法人風雷社中　庭野拓人
- **奥原さえ子さんの支援から学んだこと～振り返りと今後の課題・展望**
  - 社会福祉法人ぽぽんがぽん　太田吾郎

第2部　動かす　　豊かな暮らしを制度にとらわれずに広げる
　制度の枠を越えて、居場所・関係・地域資源をどう編み、暮らしの選択肢を広げていくか。試みの現在地を共有します。

- **地域とのつながり／カフェ／シェアハウスの試み**
  - NPO法人はちくりうす　櫻原雅人
- **富士見台カフェの運営と保養所「ポラーノの庭」構想**
  - 自立生活支援ヒビノクラシ舎　市川彩・児玉雄大

第3部　クロストーク　　「動く」×「動かす」から次の一手へ
第1部・第2部を受けて、家族視点からの感想・質問を軸に、発表者たちと一緒に論点を深掘りします。

登壇
太田吾郎（社会福祉法人ぽぽんがぽん）　庭野拓人（NPO法人風雷社中）
櫻原雅人（NPO法人はちくりうす）　市川彩（自立生活支援ヒビノクラシ舎）
児玉雄大（自立生活支援ヒビノクラシ舎）

コーディネーター
岡部耕典（早稲田大学）

指定討論者
下尾直子（洗足子ども短期大学）　羽石英里（昭和音楽大学）